

## 推奨品『砂っ固』について『地下型の巣箱』の見解

私『地下型の巣箱』は『砂っ固』を実に長い間使用していて一度も、どのハムスターでも事故が起きたことはありません。

ハムスターは乾燥した清潔な環境で健康に育ちます。

ハムスターは乾燥した清潔な環境が大好きです。

『砂っ固』はこの環境を維持することができる優れた高機能トイレ材です。

しかも取り扱いがとても簡単なので、失敗がなく良い環境を継続的かつ経済的に維持することが、だれにでもできます。さらに、毎日のオシッコの量が一目で分かるので健康管理にとっても役に立ちます。

このような実績と理由から『地下型の巣箱』はトイレ材に『砂っ固』を推奨しています。

しかし、実に多くの皆様から、『砂っ固』を使用するに当たっての心配のご質問をいただきます。

心配の原因は、

① ほとんどの【飼育書】に、使用しないほうが良いという主旨の記載があること。

② 腸閉塞を起こし死亡すると警告する【ホームページ】があること。

の二つです。

私の実体験と①②とのギャップは広がるばかりですが、推奨している責任を感じて、『砂っ固』のメーカーである（株）マルカン様（以下敬称略）に安全性について問い合わせをいたしました。

（株）マルカンから実に丁寧かつ責任ある回答を頂き、安全を再確認することができたのでここに紹介いたします。

### 『地下型の巣箱』からの[質問]に対する（株）マルカンの《回答と見解》

[質問]

ハムスターが事故になるほどの量の『砂っ固』を食べてしまうことがあるのですか？

《回答要約》

巣材を収集する性質から『砂っ固』を頬袋に入れて運ぶ現象が見られるが吐き出していることが確認できる。事故の報告は発売開始から1件も確認されていない。

[質問]

食べるとしたらどういう状況のときですか？

《回答》

巣材として頬袋に詰めた後に口に入れた食べ物と一緒に誤食してしまう可能性が考えられるかと思われる。

[質問]

『砂っ固』は消化管の中で固化するようなことがあるのですか？

《回答》

大量に誤食した場合には可能性を否定できないと考えますが、確認記録はございません。

[質問]

『砂っ固』が頬袋の中に固着するようなことがあるのですか？

《回答》

大量に誤食しない限り水分を含む口内で固着することは考え難いと思われます。確認記録もございません。

[質問]

ハムスターの死因が『砂っ固』による腸閉塞だと診断される頻度は？

《回答》

弊社関連企業の動物病院（10病院）にリサーチを行いました。各医院から類似する診療を行った記録は無い旨の回答がございました。

（株）マルカンの見解

近年、様々な情報が飛び交う中で小動物に対する「危険性」を示唆する情報を耳にする機会が多くなってはおりますが、弊社の生体部にて「砂っ固」のみを敷き詰めた状態で飼育管理を行った場合でも一切の不具合を確認した事例も無く、ハムスターに限らず全ての小動物は食料になるものと食料にならないものの区別、判断を行える生物であることから、入澤様にもご理解いただいているように、本品が突出して危険度の高い商材で有るとは認識しておらず、ハムスターや、リスなどの小動物は、食料にならないものでも巣材確保として頬袋に詰め込む習性を持つ生態である事から、誤食の可能性を完全に否定することはできませんが、この場合は巣材の問題では無く、量の問題であって本商品の安全性を否定するものではございません。

『地下型の巣箱』入澤の見解

## ① 使用しないほうが良いという主旨の記載がある【飼育書】について。

トイレ材の固まる砂は「使用しないほうが良い」と書いてある【飼育書】があります。しかしその理由と根拠が明記されていないために、どの様な理由で「使用しないほうが良い」と著者が判断したのかが分かりません。

砂粒が生殖器にくっつくなどと具体的に表現されている【飼育書】もありますが、『地下型の巣箱』入澤の観察実績では、くっついたままになっているのは、末期のハムスターにのみ見られる現象です。身繕いをするエネルギーが残っていない衰弱したハムスターには、目じりや口の周りなどにも砂粒の付着が見られます。

この【飼育書】の著者の多くが獣医さんであることを考えると、病気のハムスターを診る割合が多いはずの獣医さんならではの観察結果ではないかと推測します。つまり、

「病気のハムスターを診ると砂粒が付いている。だから使用しないほうが良い」ということではないでしょうか？

《見解の結論》

『砂っ固』で砂浴びをし、身繕いを日課にしている、健康なハムスターは、自分の身体に砂粒をつけたままにしているなどと言うことはありません。

## ② 腸閉塞で死亡すると警告する【ホームページ】について。

『地下型の巣箱』入澤は、このようなホームページは事実を述べていない可能性が高いと考えています。

そう考える理由は、

1.

獣医さんなど専門家の実名で責任管理されているホームページには、固まる砂による腸閉塞の事実・事例は見当たりません。このことは（株）マルカンの調査結果にもある通りです。

2.

では、ハムスターの病気を診断する技術・手段を持たない方が該当のホームページの管理者であるならば、

- 腸閉塞をどうやって確かめることができたのか？ さらに、
- その原因が固まる砂だとどうやって確かめたのか？ とても疑問であること。

3.

『砂っ固』は水分が一定以上（重量比）あると固まらないという事実 ←（『地下型の巣箱』が実験して確認済みのことであり、この実験結果の報告は別に公表します）。

そして、正常かつ健康に育ったハムスターが自分の命に関わるほどの多量の砂を食べることはないこと。

#### 結論

「固まる砂で腸閉塞」という言葉とイメージがホームページの中を一人歩きしています。固まる砂を大量に食べて腸閉塞を起こして死んだハムスターが本当に一匹でも存在したのであれば、どういう飼育環境で育てていたのか？など、事故の原因を公表・究明して、

○どの様に使うと危険なのか？

○どの様に使えば安全なのか？

など、再発防止策を皆で共有すれば良いことです。

『砂っ固』の安全性は（株）マルカンが既に検証済みであることが分かっています。

このように、危険情報が広まっている中、あえて『砂っ固』を推奨しているのは、危険情報が杞憂であること、『砂っ固』がハムスターに適した【飼育環境】を維持するのにとってもよいトイレ材であることを、実際に体験して知っているからです。

快適な生活環境を提供してあげることは、ハムスターにとって大きな利益です。

根拠の乏しい危険情報によってハムスターの利益を奪ってしまうことになる不利益があまりにももったいないからです。

そして、とても多くの方たちが事故無く使用しているのに、飼育者に不安な気持ちを煽り立てる無責任な情報の発信は、たとえ実名を明かす必要が無いホームページであっても、すべきでないと思うからです。

2009年春

『地下型の巣箱』

<http://ham-ham-ham.com/>

入澤 二郎

[irisawa@jd6.so-net.ne.jp](mailto:irisawa@jd6.so-net.ne.jp)

※ この件のお問い合わせは、メールあるいはホームページのBBSをご利用ください。